

きまりよく なかよく ありがとう

園長だより



みどり



幼保連携型認定こども園

No. 1 6

宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園 園長 久島 孝昭 R2. 7. 25

1号認定の子どもたちは夏休みに入っていますが、2号・3号認定の子どもたちは毎日元気に登園しています。一方、県内での新型コロナウィルス感染者の確認が急増しています。油断せず、毎日を健康で過ごしたいものです。

○ 1学期の終業式を行いました。

20日(月)の午前10時過ぎから、ホールで1学期の終業式を行いました。子どもたちはセーラー服に白のソックスの正装で式に臨みました。2歳児の子どもたちも一緒に参加しました。

式では、私から3つ話をしました。

- ① 1学期はいろいろなことを経験して身体も心も大きくなりました。
- ② 夏休みは元気で過ごして、2学期にまた元気な顔で登園してください。
- ③ 新型コロナにならないように気を付けてすごしましょう。
 - ・人が多い場所に行くときは、マスクを付けましょう。
 - ・手洗いをしっかりしましょう。
 - ・指しやぶりや鼻ほじりはしないようにしましょう。



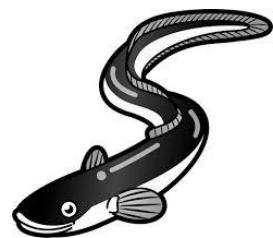
年齢に関係なく指しやぶりや鼻ほじりをする子どもが見られます。家庭ではいかがでしょうか。ウィルスは粘膜から体内に侵入すると言われています。ご注意ください。

その後、あいさつ名人2名の表彰を行い、最後に1学期末で退園する子どもたちの紹介とお別れのあいさつをして、終わりました。

1号認定の子どもたちは8月末までの長い夏休みに入りました。親子で楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

○ 給食で「うなぎ」が出ます。

株式会社 大森淡水様 より市内の保育園・幼稚園・認定こども園に対して給食用うなぎの提供があるとの連絡が、宮崎市保育幼稚園課からありました。



園としては、8月31日(月)の夏季保育の給食で2歳児以上の子どもたちに提供します。献立は「ひつまぶし」を考えています。そこで、まだうなぎを食べた経験のない子どもがいましたら、食べることができるかの確認をお願いします。魚アレルギーがあるなどして、食べることができない場合は、8月21日(金)までに担任までご連絡ください。

○ 新型コロナウィルス感染防止の徹底について

園児や保護者・職員から新型コロナウィルス感染者が出ることなく、夏休みを迎えてほつとしていましたが、22日(水)に宮崎市で2名、高鍋町で1名、翌23日(木)には宮崎市で2名、高鍋町で2名、24日(金)には高鍋町4名、西都市で1名、国富町で2名、木城町で2名の感染者が相次いで確認されました。わずか3日間で16名確認されたことになります。7月だけで19人、累計36名となりました。

報道によりますと、22日の宮崎市の感染は自営業の夫婦が東京・神奈川から訪れた知人らと屋外でバ

一ベキューをしたことで、高鍋町の感染は町内のフルーツ店の男性から広がったようです。高鍋町のフルーツ店には県外からの客も多かったことから、県外者からの感染が考えられますが、残り一人の宮崎市の理髪店経営の男性については市中感染の可能性が否定できないとのことです。また、この理髪店を利用した西都市の男児も感染が確認されました。25日未明に確認された国富町、木城町、高鍋町各2名の感染経路はまだ不明のようです。

今回は、家庭内感染を含め2名の小学生が含まれており、西都市では在籍している小学校で臨時休校の措置も取られるようです。幸い、高鍋町の小学校はすでに夏休みに入っていたようです。

本県に限らず、国内でも東京を中心に全国で新たな感染者が急増しています。すでに第2波に入っていると考えられます。世界を見ても1500万人以上が感染し、60万人以上が死亡しています。感染者は6月中旬の750万人からわずか40日で倍増してきます。感染拡大が始まった頃は「暑くなれば感染者は減少していくだろう」とも一部で言われていましたが、現実は違いました。

国は社会経済活動と感染拡大防止を両立させていくとして、今週から「Go To トラベルキャンペーン」を開始しました。すでに県外からの旅行者も相当数入ってきていると思われます。

これまで、省内においては感染者が少なかったこともあり「対岸の火事」と気持ちが緩んでいたところもあったのではないでしょうか。

24日(金)の午後4時に「れんらくアプリ」で緊急メールを送らせていただきましたが、3歳児以上、できれば2歳児の子どもたちも、登園の際、マスク着用をお願いします。園児や職員、保護者に感染者が出てしまったら、休園しなければならなくなることも考えられます。そうなると、関係する全ての人の日常生活が大きく変わってしまいます。祖父母の皆さんが感染すれば、それこそ命が危険にさらされる可能性もあります。

- ・ 外出時のマスク着用
- ・ 帰宅時や人混みに入った際の手指のアルコール消毒
- ・ 3密を避け、不要不急の外出はしない
- ・ 「自分は大丈夫」という根拠のない自信はもたない
- ・ 「感染しないだろう」ではなく「感染するかもしれない」という意識で行動する
- ・ 新型コロナウィルス接触確認アプリ(CO CO A)をスマホにインストールし、外出時は持ち歩く
- ・ 県境をまたぐ移動はできるだけ避ける など

今、自分にできる感染しないための努力を精一杯していきましょう。「国が緊急事態宣言を出さないから大丈夫」ではなく、自分で状況をしっかり見て、考えて行動しましょう。それが自分のため、家族のため、みんなのためになります。体調に違和感があったら、すぐにかかりつけ医に電話で相談しましょう。

大げさだなあ、と思われる方もおられると思いますが、集団の中で一人感染者が出たら、一気に感染が拡大します。感染者が出てからでは手遅れなのです。

園としても、今後の状況を注意深く見ながら、必要に応じて園の行事の見直しもしていきます。変更がある場合は、すぐに「れんらくアプリ」でお知らせしますので、よろしくお願ひします。

○ 子どもの車内放置は危険です。

今週は梅雨が明けたのではないか、と思うくらい暑い日が続きました。こんな日に子どもを車内に置いて、大人が車を離ることは危険です。16日(木)に福井県で車内に放置されていた子どもが死亡するという事故が発生しました。生後11か月の女児が昼間の2時間ほど車内に放置されていました。エンジンは停止していたそうです。この季節、エンジンを切った車内は5分もすると暑くなり、大人でもつらくなります。「ほんのちょっと」が命取りになりかねません。子どもを連れて車で外出した場合、絶対に子どもだけを車内において車を離れないようにしましょう。